

**令和 6 年度
事業報告書**

**社会福祉法人平和会
幼保連携型認定こども園
いとよ保育園**

1. 概要

令和6年度は135名定員に対して年間を通して106%の児童が入所しており安定的な運営となった。6年度は0歳児の入所より1, 2歳児の入所希望が多かったことで、0, 1, 2歳児クラスの人数が多く、保育室の利用の仕方を研究し環境づくりを行った。いいとよ保育園の運営については今後の見通しを持つ機会を多く持った。本園や法人内の園に限らず、発達に課題がある児童の増加を感じるようになり、6度は発達支援に関わる研修や視察を行い、今後いいとよ保育園内に児童発達支援事業所を併設できるよう準備を始めている。活動開始をしたことが、現在の園内の教育・保育を改善する良いきっかけとなり、9月を境に子どもたちが日々の、いいとよ保育園の「異年齢児保育」を始めることができた。他機関との連携を持つ機会も多く、園の成長につながる1年だったように感じる。

また、令和7年度に発表を控えている岩手県研究発表への取り組みは、園の保育の営みの社会化を目指し鬼剣舞の文化の伝承に焦点を当て、研究を進めることができた。

人材育成の面においては、組織目標の明確化、キャリアパスの作成、評価制度を全職員で共有し実施した。職員が自分の役割や職務内容を理解しやすくなるとともに、目標を明確に持つ機会を設定し、組織としてより成長していけるよう取り組み始めたところである。

安全管理、危機管理、虐待についての研修はより具体的取組に変え、すぐに実践できたことが大きな改善につながった。職員間の協働意識や連携、チーム保育の意識も高め園児が安心して過ごしたことで子どもたちのよりよい成長につながったと感じている。

2. 園児及び職員の状況

(1) 開所日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	25	24	25	26	26	23	26	24	26	25	22	25	297

(2) 児童の入所状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	7	9	9	12	12	12	12	12	12	12	12	12
1歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
2歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3歳児	1号	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	2号	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
4歳児	1号	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	2号	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
5歳児	1号	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
	2号	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
合計	140	142	142	145	145	145	145	145	145	145	145	145

(3) 児童の出席状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2,599	2,417	3,000	2,719	2,401	2,794	2,944	2,809	2,823	2,391	1,963	3,021	31,881

(4) 職員の状況

職種	園長	主幹 保育教諭	保育教諭	看護師	栄養士	調理員	事務	清掃員
人数	1	2	25	2	1	4	1	3

○嘱託医

学校医

内科：いとう小児科クリニック 伊藤亮助

眼科：大内眼科 大内哲也

学校歯科医

歯科：あだち歯科クリニック 安達孝二

学校薬剤師

すずらん薬局 小田島匡

3. 保育の実践内容

(1) 保育内容について

0 歳児 安心して過ごせるよう、ひとりひとりの生活リズムを大切にしていき、応答的なかわりや触れ合いを大切にしながら過ごしていった。食事時の誤嚥が無いように十分に気を付けながらテーブルに座る子どもの人数を制限して落ち着いて介助するように共有していったり、午睡チェックなどの際の見守り方など職員間で確認し合っていた。室内の環境や保育者のかかわり方などについて 0.1 の職員で話す機会をもっと持つべきだったと感じる。

1 歳児 朝の身支度や衣服の着脱等身の周りの事を意欲的に取り組む姿が見られた。気持ちが向かずにいる姿も受け止め、気持ちに寄り添った声掛けをすることで、気持ちを切り替えてやってみようとする姿に繋がられるよう関わっていった。友達との関わりの中で思いを言葉にしながらかつて過ごせるよう援助したり遊びのイメージを言葉にしたりすることで、友だちとの関わり方についても知らせながら関わる事が出来た。一方で、遊びの環境の充実が図れなかったことに課題を感じるため、専門性について改めて自ら学んでいく事で改善していきたい。

2 歳児 一人ひとり思いを受け止められて過ごしていった事で安心して言葉や動作で思いを伝える姿が多く見られた。また、基本的習慣も身に付き自分でやってみようとしたり年上の真似をして行う姿もあった。時には、甘えたい姿もあったが、受け止めたり一緒に行う事で意欲に繋がるようにしていった。あそびでは、友だちと誘い合い一緒にあそぶ姿や友だちと好きなあそびを共有し様々なあそびを楽しんでいた。その中で、気持ちのすれ違いもありトラブルになる事もあったが相手の気持ちを理解しきつかけとなり丁寧に仲立ちをしていくように心掛けた。

3 歳児 身の回りの事も身につけ自分でやろうとしている。好きな遊びを楽しみながら友達との関わりも広がり言葉でのやり取りも増えている。思いのぶつかり合いもあるが互いに思いを伝え合いながら過ごすようになってきている。色々な事に興味を持ち、やってみようという姿が多くあるので保育者も一緒に楽しみながら取り組んでいきたい。

4 歳児 興味や関心があることに向かって意欲的な姿が見られ、友達と考えたり、その中で出た疑問を調べたりしながら遊びを広げていた。子ども達の声を取りながら保育者も一緒に考えたり、遊びを進めていくことで遊びも深まり展開されていた。友達との関わりではトラブルも多く見られた1年であったが、自分の思いを言葉にして伝え合うことを大切

にしていく中で、少しずつ相手の思いに気付き、寄り添った考えも見られるようになってきている。今後も子ども達の心の葛藤にも目を向けながら思いを繋いでいきたい。生活では身の回りのことを自分で行う意識をもつことが出来ていたが、細かな物の管理や食事のマナーは繰り返し伝えていく必要があると感じた。

5歳児 子ども達が自分のやりたいことを実現するために、友だちと話し合ったり考えたりしていた。友だちや保育者と一緒に挑戦することで難しいことも諦めずに最後までやってみようという気持ちで取り組むことができ、自信に繋がっていった。当番活動等では、異年齢児との関わり方を学び、周囲の様子に目を向けることも多くなった。

(2) 年間行事実施内容

○英会話教室 年長児・年中児 計6回

○交通安全教室実施報告

6月3日9:45~	信号の約束、横断歩道の歩き方、とまとの約束	73名参加
10月16日9:50~	とまとの約束、信号の見方、横断歩道の渡り方等	81名参加
1月23日10:30	とまとの約束、交通安全かるた	27名参加

主な行事

4月5日	入園式		10月5日	運動会	
4月19日	誕生会		10月11日	秋の遠足	
4月26日	親子遠足		10月22日	誕生会	
5月2日	こどもの日集会		11月1日	防災パレード	
5月20日	誕生会		11月7日	焼き芋会	
5月27日~	参観日		11月7日	さくらお楽しみデー	
6月6日	歯医者さん講習		11月20日	誕生会	
7月5日	七夕		12月20日	もちつき	
7月11日	夏祭り		12月24日	クリスマス誕生会	
7月17日	観劇会		1月15日	小正月	
7月17日	プライベートゾーン話		1月20日	誕生会	
7月19日	誕生会		2月7日	刀納め	
7月26日	鬼剣舞お披露目会		3月3日	ひなまつり	
8月3日	みちのく芸能祭り		3月8日	成長発表会	
8月20日	誕生会		3月19日	誕生会	
9月12日	カレーパーティー		3月22日	卒園式	
9月22日	誕生会				

4. 小学校との接続

北上市幼保小連絡会議	5月10日
幼稚園保育園小学校交流会及び連絡会議	6月7日
幼保小生徒指導交流会	6月14日
第1回飯豊地区幼保小交流会	6月26日
保育参観	9月27日
飯豊小学校150周年記念式典	10月26日
幼保小交流会	11月6日

新1年生引継ぎ	12月24日
第2回北上市幼保小連絡会	1月31日
第2回飯豊地区幼保小連絡会	2月26日
入学性保幼少引継ぎの会	3月25日

5. 地域との連携促進事業

(1) 地域との連携行事等

飯豊地区学校協働本部総会	4月24日
飯豊鬼剣舞保存会の方に、指導をいただく	5月16日
飯豊鬼剣舞保存会の方に、指導をいただく	6月27日
保護者への鬼剣舞披露	7月26日
きたかみ芸能祭り	8月3日
グループホーム敬老会	9月20日
運動会にて披露	10月5日
J A 農業祭	10月26日
飯豊地区作品展出展	11月2日
飯豊中学校1年生への職業についての話	12月6日
刀納め	2月7日

(2) 保育実習生及びボランティア

調理実習	1名	北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ	5月15日～6月4日
保育実習	1名	宮城誠誠短期大学	7月8日～8月9日
職場体験	2名	翔南高校	7月17～18日
保育実習	2名	盛岡大学	8月19日～9月13日
教育実習	1名	専修大学北上福祉専門学校	9月30日～10月11日
職場体験	2名	北上市上野中学校	10月3～4日
職場体験	5名	翔南高校	12月23～24日
保育実習	2名	盛岡大学	8月19日～9月13日
ふれあい体験授業	95名	飯豊中学校3年生	11月11日～11月15日
保育実習	2名	盛岡大学	2月12日～2月26日

(3) 地域子育て支援

●親子教室 2回実施

8月24日 参加者8名 手作りおもちゃ

10月13日 参加者6名 北上トロンボーンカルテット

●園庭開放

利用回数 0

●北上市開催幼保合同説明会に参加

6. 健康管理と安全対策

- (1) 感染性胃腸炎(ノロウイルス)が感染拡大してしまったため、保健所へ発生状況の報告をし指導を受ける。重症化した子はいなかった。掃除・消毒方法や嘔吐・下痢等の対応方法を見直し、周知徹底した。今後も掃除・消毒、嘔吐・下痢等の対応方法を徹底し、感染拡大防止に努めていきたい。季節の変わり目で熱や風邪症状で休む子はいたが、流行性の感染症が流行る事はなかった。年間を通して救急受診は19件(歯科8件、整形外科4件、眼科3件、皮膚科2件、小児科・脳

外科 1 件ずつ)あり全て外来診療で済んでいる。縫合する外傷が 1 件あり、2 針縫合し 3 日の通院で終了した。転倒による口のケガでの歯科受診が多かった。ケガの受診が減ってきているので、引き続き子どもたちが安全に過ごせるようにしていきたい。

受診は要しないが、日常的に打撲、擦り傷、引っかき、噛みつきがあった。

(4) 安全対策

- ・火災、地震、水害の避難訓練の実施（通報訓練及び総合避難訓練含）
- ・交通安全教室 3回(春季は北上市交通指導員の指導による)
- ・職員による遊具・室内の安全点検（毎日）
- ・全体点検 6/12 10/16 12/12
- ・業者による遊具点検（年 1 回）
- ・衛生管理点検（毎日）
- ・ヒヤリハット報告 26 件

(5) 避難訓練実施報告

月日	想定及び内容	参加者
4 月 23 日	・避難経路の確認・非常時の合図について・地震	131 名
5 月 14 日	・地震(軽震)、安全な場所に身を寄せる	134 名
6 月 10 日	・園内火災(玄関)および通報訓練等総合避難訓練	116 名
7 月 16 日	・地震(強震)の際の避難の仕方について	136 名
8 月 22 日	・水害による避難の方法について	128 名
10 月 2 日	・園内火災(コンセント)を想定した訓練	128 名
10 月 10 日	・給食室火災および通報訓練等総合避難訓練	129 名
11 月 14 日	・緊急地震速報による遠距離火災時の避難	130 名
12 月 23 日	・地震による避難方法	133 名
1 月 14 日	・中震の際の身の守り方、職員が少ない日の対応(土曜日)	9 名
2 月 10 日	・予告なし園内火災	129 名
3 月 12 日	・午睡中の地震	115 名

7. 施設整備

- ・園庭整備
- ・性被害対策環境整備
- ・ホールエアコン水漏れ修理
- ・エアコン清掃
- ・未満児外シャワー修理
- ・扉関係調整 等
- ・保育室保育環境構成
- ・調乳室水道修理
- ・以上児保育室ワックスがけ
- ・床暖膨張タンク取り換え
- ・未満児前庭フェンス取り外し

8. アクシデント及び苦情報告

(1) 苦情について

0 件

子ども同士のトラブルが原因となって苦情になる事が多いのだが、今回の内容については保育園職員として反省すべき点多かったように思う。子どもたちの発達や個性によって、トラブルが予測されていたにもかかわらず、あらかじめ対応できていなかったことが要因となった苦情であった。園の改善点を検討して伝えながら、さらに子ども同士のけんかやトラブルは成長していくうえで必要な経験であることを伝えていくが理解を得るの困難だと感じることもある。園内でできる対応策を見出して、職員で共有することを継続していく。

他にも保護者個人の要望もあったので、改善できる内容についてはその都度見なおしていった。しかし、子どもたちの成長につながる教育。保育に関わる内容については手紙などで説明をするようにした。

(2) アクシデントについて

● 病院で診察を受けた件数 23 件

● 診察を受け治療を要した怪我の件数 4 件

治療を要するケガについては、2 回ほどの通院で完治していて大きなけがもなく過ごせたことは良かったと思う。ただ、保育するうえで、前もって注意しておけば防げたのではないかと思われるケガが数件あることと、本園の特徴である園庭環境により、手や足にとげが刺さってしまうことも多かったことが反省点として挙げられる。

ケガを完全に防ぐことは困難だが、事前の研修や安全確認において防げるものもあるので、そういった点を改善していきたい。

また、歯科受診となるケガも毎年多いので、引き続き職員間でしっかり関わっていきたい。

今年度、アレルギー除去が必要な 1 歳児の児童に対しての誤食事故があった。すぐに、気づき対応したことで大事には至らなかったが、事故の経緯を振り返る中でそこに関わった全職員に一瞬の隙や思い込みがあったことが確認された。一つ一つ反省点を洗い出し、対応がなされていなかったことを改善してこのような事故が起きないように改めて職員で共有した。

8. 職員研修と保育研修の充実

(1) 園内研修

安全研修	4 月 1～3 日
井上寿氏保育についての研修会	5 月 1 日
いわて幼児教育センター訪問支援研修	5 月 22 日
木村歩美氏子どもの見方についての研修会	6 月 25 日
学校医による食物アレルギーについて	7 月 8 日
安全管理に関する研修（マニュアルの共有）	8 月 26 日
いいとよミニシンポジウム	9 月 23 日
園庭ワークショップ	9 月 24 日
グループ別園内研修	10 月 5 日
虐待研修	11 月 26 日
環境ワークショップ	12 月 7～8 日
園内自己評価	1 月 17 日
全体レクリエーション	2 月 1 日

※ そのほか分野別グループで各分野について深く学び職員会議で情報提供した。

(2) グループ研修

必要に応じて以上児、未満児に分かれて実施。環境の見直しや新たな環境構成、計画の確認な、情報交換などを行った。

年間以上児 4 回未満児 4 回開催

(3) 園内研究

北上保育協議会の研究発表に向け、年長児の鬼剣舞の取り組み研究を進めた。

盛岡大学准教授藤田清澄先生に指導を受け、分析とまとめを行った。

研究テーマ「鬼剣舞の文化の伝承 ～サークルタイムの活用～」

(4)園外研修（オンライン研修を含む）

なるべく多くの職員が先進し視察を経験できるように計画し実施した。

つつみこども園 4名、秋田風の遊育舎 5名、十坂こども園 4名

ながかみこども園 2名、三瀬保育園 5名、花泉こども園

発達支援研修	1名	虐待対応研修	1名
中核リーダー研修	2名	東北ブロック研修	4名
医療的ケア児研修	1名	レベルアップ研修	1名
管理者研修	3名	研究テーマ研修	2名
幼保小研修	2名	アレルギー研修	1名
保育研究大会	4名	教育フォーラム	2名
苦情セミナー	2名	事故予防研修	10名
救命救急講習	2名	主任研修	2名
言語教育研修	1名	医療的ケア児支援者研修	1名
虐待防止研修	1名		
看護職研修	1名	北上保育協議会	
感染症対策研修	10名	キャリアアップ研修	
保育技術研修	2名	指導計画研修	

10. 給食栄養関係

- ・栄養価は年に1回改訂し、年齢、男女比、身体測定結果を考慮して算出した。年間を通して各栄養素の栄養価充足率は、ほぼ105～95%となった。特に未満児のビタミンAや鉄分が不足気味になることがあったので気にしながら献立を検討した。また、ミネラル等の栄養素も不足にならないように気を付けた。
- ・食育の取り組みとして、空弁の日を設定した。3歳以上児が家庭から弁当箱を持参し、給食のメニューを詰めて提供した。
- ・アレルギー児6名の代替食を提供した。
卵アレルギー1名、乳アレルギー2名、卵・乳アレルギー3名、かじきまぐろアレルギー1名
(乳・卵アレルギー児の1名が年度途中で除去食解除となった。)
- ・身長体重測定結果を毎月入力し、全園児の体格の把握を行った。看護師と相談し、体重の増加
- ・肥満度が気になる子について経過を観察した。
- ・令和6年度は肥満（太り気味を含む）が未満児60名のうち8名、以上児が85名のうち1名。やせに該当する子は見られなかった。

11. 延長保育事業

令和6年度は平均対象児童数が6名となり、延長保育利用児童の増加が見られた。

18時以降が延長保育となるが開始時間の園児数はそこまで多くはないが、18時半以降まで利用する子が増えたことで、平均人数が増えた。職員体制が不足にならないように気を付けて職員計画を立てるようにした。月曜日と火曜日は延長保育児童が多くなる傾向があり、休み明けで疲れている子もいるので、けがにつながらないように心がけた。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延人数	155	158	164	180	157	179	202	156	153	149	164	163	1,980
開所日数	20	23	26	24	24	22	21	21	22	23	22	24	272

1 2. 一時預かり事業

昨年度に引き続き新2号認定で利用する園児が多い。そのため、1号認定で降園の児童は2名程度にとどまる。保護者のニーズと3歳以上児の生活を思うと、1号認定の教育時間の見直しの必要性を感じた。子どもにとって必要な教育時間を今後検討していくこととする。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平日	248	289	277	328	181	245	275	265	219	224	227	193	2,971
長期 休暇 休	44	0	0	0	89	0	0	0	34	11	0	70	248
休日	11	11	16	18	14	13	6	13	9	12	9	8	140
延人数	303	300	293	346	284	258	281	278	262	247	236	271	3,359

1 3. 病後児保育事業

いいとよ保育園での病後児保育も地域に定着し始めていることを感じるが、利用者は概ね再利用者となっている。今年度も100名を超える使用があった。ほとんどの利用児は1日程度の利用で回復している。感染症の利用より、咳や風邪症状での利用が多かった。昨年度同様、園児が利用することも増えてきている。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	16	12	13	11	5	0	7	3	7	6	8	14	102